

日本学術会議 健康・生活委員会 健康・スポーツ分科会（第24期第4回）

日時 令和元年7月31日（水）14：00～16：00

場所 日本学術会議6階6-C会議室（1）

出席者 田原、川上（スカイプ）、來田（スカイプ）、宮地、小熊、神崎、佐々木、定本、永富、三輪

議題

1) 前回議事録の確認

意義なく承認された。

2) 総会関連委員会の報告

- 宮地第二部会員より、4月の総会ならびに健康・生活委員会の活動について、健康・生活委員会から提案されている「ケアサイエンス」大型研究の審査対象に選定されていることなどが報告された。
- 田原委員長より、「科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会」における議論の進捗について報告された。

3) WGの進捗状況について

- WG1・・・特になし。
- WG2・・・3名のヒアリングを実施。
- WG3・・・身体活動のメッツ表に記載されているスポーツ・運動・身体活動についてオントロジー化を進める方向性が示された。

4) 横浜2020スポーツ学術会議の準備状況について

田原委員長より以下の点について報告と依頼があった。

- 2020年9月8日～9月12日にパシフィコ横浜ノースで開催される。
- 参加費が一般45000円、学生20000円となった。
- スポンサー集めと参加者集めをお願いしたい。

5) 飯島勝矢先生ご講演「国家戦略としてのフレイル予防—市民主体の健康長寿まちづくり—

- フレイルサポーター・トレーナーの養成
- 2014年の老年医学会におけるフレイルの定義や実態、エビデンス
- 予防におけるコミュニティー・つながりの重要性などについてご報告いただいた。

6) 岩沼聡一郎先生ご講演「知的障がい者とスポーツの関わり」

- 108万人の知的障がい者の高齢化
 - 平均死亡年齢は62歳と、日本人の平均より、20年も短く、20%もの割合でサルコペニアに該当するといった実態
 - スペシャルオリンピックスなどの知的障がい者のスポーツ支援
 - 障がい者と健常者が一緒に楽しむユニファイドスポーツ
 - 参加者はまだ軽度の方が多いなどの問題点
- についてご報告を頂いた。

7) その他

小熊委員から、「身体活動に関する世界行動計画 2018～2030：健康的な世界に向けて一人一人をよりアクティブに（暫定版）」について報告があった。

以上

文責 幹事 宮地元彦